



滋臨衛技

第227号

たより

発行所
滋臨衛技師会
事務局
大津赤十字
病院検査部
大津市長等1-1-35
発行責任者
瀬田正憲



◇目次◇

平成19年度 第1回定期総会	2
新監事就任ご挨拶	3
第17回 近畿臨床衛生検査技師会形態部門（血液検査部門）研修会	3
無呼吸症候群（睡眠のちから）無料公開講座を企画して	4
結核感染予防対策研修会を終えて	5
春のハイキング（初夏における自然とのふれあい）	6
春のハイキングに参加して	7
第42回 小島三郎記念技術賞受賞	8
トピックス	8
平成19年5月定例理事会議事録	9
平成19年6月定例理事会議事録	10
お知らせ	14
今後の事業予定	15
求人求職情報	15
編集雑感	18

平成19年度

第1回定期総会開催される

平成19年度第1回定期総会（決算）が、平成19年5月26日（土）午後1時30分から草津市立まちづくりセンター309会議室で開催された。

総会は小椋慎吾理事の司会により開会され、議長選出の方法について出席会員から執行部一任の発言があり、議長には第2地区より松井千晶氏（済生会滋賀県病院）、第3地区より山出忠彦氏（社会保険滋賀病院）が選任された。

議長挨拶につき資格審査委員兼議事運営委員5名、書記2名、議事録署名人2名が任命された。

会長挨拶のあと、議長は午後1時30分現在の出席者の報告がなされ当日出席者34名、委任状398名、現在会員数493名であり、定款第24条および第26条により本総会の成立を宣言し、議案審議に入った。

第1号議案の平成18年度の事業報告が岸本茂己副会長と吉田孝副会長から述べられた。

第2号議案の平成18年度収支決算報告が山本昌之常務理事から述べられた。

第3号議案の監査報告は元廣昌之監事より監査報告がなされた。

議長は第1号議案、第2号議案、第3号議案の承認を会場に求めたところ、いずれについても圧倒的多数で承認された。

第4号議案の定款改訂について瀬田正憲会長より提案説明がされた。

議長は、4号議案について質疑を求めたが、特に質問がなかったため、挙手による賛成承認をもとめた。資格審査委員は賛成者数を数え議長に報告した。

議長は、採決の結果4分の3以上の会員の承認を得たことを宣言した。

第5号議案の平成19・20年度監事については、立脇憲一氏（滋賀医科大学附属病院）が役員推薦委員会から推薦された。議長は会場に承認を求めたところ出席者の圧倒的多数で承認された。

最後に総会役員解任と議長退任挨拶があり、午後2時30分に閉会の辞をもって総会日程を終了した。





新監事就任ご挨拶

滋賀医科大学医学部附属病院検査部

立 脇 憲 一

5月26日に開催されました平成19年度第1回定期総会におきまして、監事就任のご承認をいただき、本年度から2年間就任することになりました。よろしくお申し上げます。

監事としての職務は、本会の財産並びに理事の業務執行を監督し検査する（監査）ことと心得ております。約1年前（平成17年度）までは、本会の会務執行役員として当会の財産を管理し、業務を執行してまいりましたが、本年度からはそれらを監査する立場というまったく逆の視点から技師会運営に携わっていくことになります。社会にとって、或いは会員の皆様にとって有用な技師会は如何にあるべきかという視点を持ちながら職務を遂行して行きたいと考えております。どうぞよろしくお願いたします。

第17回近畿臨床衛生検査技師会形態部門(血液検査部門)研修会

血液検査分野長 滋賀県立成人病センター

梅 村 茂 人

平成19年3月17～18日、ピアザ淡海にて第17回近畿臨床衛生検査技師会形態検査部門(血液検査分野)研修会が開催されました。

開催にあたり1年間の準備期間を設け、企画から各種準備作業を行いました。

研修会参加者人数を150名前後と設定し研修会を企画しましたが、果たして今回の内容でそれだけ参加していただけるか、受付当初は心配されました。

幸い研修会参加者は目標の150名を超え、その後の開催準備作業の励みになった事を思い出します。

講師・実務委員併せ28名の体制で研修会参加者数154名の研修会を開催し、盛大かつ無事に充実した研修会を終えることが出来ました。



研修会の開催にあたり、快く講演をお引き受け下さった講師の先生方、研修会開催までの準備作業および当日の会場運営にご協力頂きました各府県の分野長や県内実務委員の方々、協賛頂きました企業に心より感謝いたします。

無呼吸症候群（睡眠のちから）無料公開講座を企画して

社団法人 滋賀県臨床衛生検査技師会

生涯教育部長 吉田 忠夫

前回はアンチ・メタボリックシンドロームと健康長寿のテーマで開催したところ、81名のご参加がありました。今回は平成19年5月26日（土）総会の後に、生涯教育が企画した公開講座には、43名のご参加を頂き有り難うございました。そのなかで、県民の参加は13名と、前回の公開講座より多くの参加をいただきました。大本、岡本理事の巧みな進行で、県民からの質問があるなど、盛況のうちに終わることが出来ましたことにお礼申し上げます。今回のポスターは手作りでA4サイズのため、広く県民の皆様には広報出来なかったもので、今後は、広報のやり方・財政的なことも考えて進めていく必要があると思われます。技師会の公益性は、今後も強く求められると思われますので、各研究班が行う各分野研修会では、益々、専門職を生かした研究・学術性を追求していくことで、県民に対する検査の普遍性を啓発し、生涯教育などで、公益性をもった講座や研修会を進めていきたいと考えております。



無料公開講座

『睡眠のちから』

あなた ねむれますか？



平成19年5月26日（土）

15時～17時

草津市立まちづくりセンター

講師 社会保険滋賀病院耳鼻咽喉科部長

日本睡眠学会認定医、耳鼻咽喉科専門医

駒田 一朗 先生

主催 社団法人 滋賀県臨床検査技師会



結核感染予防対策研修会を終えて

社団法人 滋賀県臨床検査技師会
微生物検査分野長 清水 馨

"結核の現状と新しい感染診断法から結核感染予防対策を考えよう"というテーマで、6月9日(土)にピアザ淡海(滋賀県立県民交流センター)大会議室にて、財団法人結核予防会滋賀県支部のご後援を受け、当技師会の主催で結核感染予防対策研修会を開催いたしました。講師に財団法人結核予防会結核研究所抗酸菌レファレンスセンター免疫検査科科长の原田 登之先生をお招きして、「結核の過去・現在・未来」、「新しい結核感染診断クオンティフェロンTB-2Gについて」の2つの演題についてご講演をいただきました。座長は前会長で滋賀医科大学附属病院検査部技師長の立脇憲一先生をお願いいたしました。

参加者は55名で、会員38名、非会員17名でした。職種別では臨床検査技師37名、看護師7名、医師6名、薬剤師1名、その他医療関係者4名でした。

日本では結核の感染予防としてBCG接種が行われてきました。しかし、接触者検診での結核感染診断の検査であるツベルクリン反応では、結核感染とBCG接種の両方で陽性となり区別ができませんでした。この問題点を克服したのがクオンティフェロンTB-2Gであり、BCG接種の影響を受けずに結核感染診断を行うことができます。ご講演では結核の歴史から、日本の結核感染予防対策の現状と問題点、結核感染とツベルクリン反応・クオンティフェロンTB-2Gについて、さらに今後の課題と問題点についてわかりやすく教えていただきました。

研修会のアンケートの中で「結核に関する研修会は行うべきですか」という質問に、毎年行うべきだ31名、話題があるときだけ行うべきだ15名、行う必要はない0名と回答をいただきました。そこで、この研修会は有意義であったと感じました。研修会開催にご尽力いただいた皆様ありがとうございました。





春のハイキング

～初夏における自然とのふれあい～

厚生部 夏原寛治

皆様お疲れ様でした。参加人数は、12名でした。昨夜の天気予報では雨、当日は、快晴とは言い難いところですが、まずまずの天気でなんとか救われた気持ちでいたのですが、いざ出発となると…なんと今年も時間に間に合わないお人がおられまして、他の参加者には先に行って頂いて、なんと待っていた私、巨体（85Kg）で坂道約500メートルを駅までスーパーダッシュし、なんとか比叡山ケーブルの乗車時間には間に合う事が出来ました。全員そろったところで仕切り直してスタート。ケーブルを上り眼下に見える眺望は、新緑の山々とびわ湖が、臯月にふさわしいすがすがしいものをかもし出していました。てなことをおもいつつ延暦寺へ到着、トイレ休憩し気合いを入れ直して林道へ、途中お湿り程度の雨が頬をかすめたものの、その後雨にはたたられずに八瀬に到着。京福電鉄に乗って出町柳まで走る風景が何とも言えない情緒深いものがあり、やっぱり京都だと思わせるものがありました。お昼ご飯で我が肉体を充電し補給完了、心機一転、鴨川沿いを植物園まで優雅に散歩し無事入園。

今回は、真紅のばらにお目通りさせて頂き、美しい者には…と思っている私は、なんと不純なのでしょうか？植物園を後にして平安神宮へ、神宮内のお庭で咲き誇るカキツバタがちょうど良い時期でうっとり、ため息がでそうでありんす。あとは、目標の清水寺までひたすらに（ちょっと寄り道）歩いてお疲れ様でございました。何とか無事に最後まで全員がそろっておられましたことに感謝。

PS、秋に嵐山のハイキングを計画していますのでどうぞ、ふるってご参加くださいませ。



春のハイキングに参加して

大津赤十字病院検査部 高崎 匡

当日は雨が心配されていましたが、結局お昼前には晴れ間も見え、吹く風も涼しく外で過ごすのもってこいの天候でした。京阪坂本駅から比叡山鉄道ケーブルで延暦寺へ、鉄道を使ったり途中小道を散策しながら京都に入り、京都府立植物園や平安神宮、清水寺などを巡りました。

中でも府立植物園は、見頃のバラの園があり、世界各国のバラの花が大輪、中輪様々に色も鮮やかに植えられていました。晴れ間も出て、この辺りで、さっき登ったばかりの比叡山頂が望むことができました。別の場所には自分より背が高く何万個もの赤紫色の花をつけたエキウム・ウィルドプレッティ（別名：宝石の塔）と呼ばれる植物が何十本と植えてありました。5月くらいが旬だそうで、植物園のスタンプにもデザインされてました。一番足を停めて眺めたのは、太さ2mほどで裂けたように幹から上の部分も無く立っている株の根元とその横に生えている数十cmの太さの樹です。樹にはカードが掛けられており、「サイカチのこの個体は絶滅してしまったのでしょうか？ そうではありません。二世が株元に育ち、りっぱに、生き続けています。植物の持つ、たくましい生き残り戦略、時間をかけてじっくり観察してください。」と書かれていました。職員の人の植物たちへの愛情を垣間見た瞬間でもありました。皆さんも天気の良い日には出かけてみてはいかがでしょうか。



受賞おめでとうございます



第42回小島三郎記念技術賞受賞

医学博士 片岡 秀夫 氏

第42回小島三郎記念技術賞を、彦根市立病院臨床検査科長の片岡秀夫医学博士が受賞されました。本賞は臨床検査研究部門で最も権威のある賞の一つであり、授賞式は2007年5月11日に東京の野口英世記念会館にて厳粛に執り行われ、表彰状、盾、および副賞が授与された。

受賞対象論文は「細胞診における免疫細胞化学、免疫電子顕微鏡法の確立」であり、受賞対象業績は、著書 3 篇、英文44篇を含む論文52篇、および国際学会20回を含む計101回の国際・国内学会発表である。

トピックス

「特定健診」と「特定保健指導」について

今般の「医療制度改革大綱」を踏まえ、「生活習慣病予防の徹底」を図るため、平成20年4月から、医療保険者に対して糖尿病等の生活習慣病に関する「特定健診」及び「特定保健指導」が義務づけることとされた。また、「医療制度改革大綱」の政策目標は、糖尿病等の生活習慣病有病者・予備群を25%減少させることとして、中長期的な医療費の伸びの適正化を図ることとされる。(標準的な健診・保健指導プログラム確定版)厚生労働省健康局より抜粋。

特定健診の検査項目については、医療保険者が健診機関で実施された被保険者の健診結果のデータを一元的に管理(生涯的)し、生活習慣病のリスクが高い者から優先的に保健指導をしていくことが必要となるため、検査項目の判定値の設定や検査項目毎の検査測定値の標準化が不可欠となる。

平成19年5月定例理事会議事録

日時：平成19年5月9日(水) 17:00～18:30

場所：滋臨技 会議室

出席者：瀬田、岸本、吉田孝、入野、竹島
吉田忠夫、岡本、藤田、横山、桐畑
大本、内木、元廣、橋本

司会：桐畑

1. 会長挨拶と報告

- ① 3月24日、日臨技総会開催、48722名、出席・委任31790名で平成19年度事業と予算が承認されました。
- ② 生涯教育制度の変更があり、履修年限5年、基礎と専門の2部門になる。
- ③ 11月16日、日臨技の創立55周年記念式典・祝賀会開催予定。

2. 報告事項

- 1) 近畿フォーラム開催
日時：平成19年4月7日(土)15:00～18:30
会場：ホテルグリーンプラザ大阪
参加者：136名
- 2) 近畿理事会
日時：平成19年4月11日(水)15:00～17:00
会場：大阪府技師会事務所
1、近畿研修会企画申請手順について
2、国際部・海外協力委員会の役員承認
3、近畿学会での若手発表者への奨励賞の審議を継続する。
4、日臨技の学会あり方委員会で開催地をエリア区分で輪番制にする。
平成22年は近畿または北部九州。
- 3) 精度管理代表者会議
日時：平成19年4月11日(水)18:00～20:00
場所：滋臨技 会議室
- 4) 定款諸規定改定委員会
日時：平成19年4月18日(火)18:00～20:00
場所：滋臨技 会議室
- 5) 学術部会議
日時：平成19年4月19日(水)18:00～20:00
場所：滋臨技 会議室
- 6) 滋臨技会議室の資料整理
日時：平成19年4月22日(日)9:00～12:00
場所：滋臨技 会議室
- 7) 総会告示配布
日時：平成19年4月20日(金)
- 8) 地域医療推進協議会会議
日時：平成19年4月24日(火)14:00～16:00

場所：滋賀県医師会館

議題：5月28日の「地域医療を守る滋賀県民集会」開催について

当会の担当区分は閉会のあいさつ。

9) 役員推薦委員会開催

日時：平成19年5月1日(火)17:00～18:00

場所：滋臨技 会議室

議題：平成19・20年度の監事推薦について

3. 協議事項

1) H19年度第1回総会について協議
(決算総会)

日時：5月26日(土)13:30～14:30

場所：草津市立まちづくりセンター

総会役員の決定

総会審議事項

- ① 各部事業報告(総務、学術、事業、組織、生涯、渉外、広報、厚生)
- ② 収支決算報告(会計)
- ③ 監査報告
- ④ 平成19・20年度監事の承認
- ⑤ 定款改定審議
- ⑥ その他

理事・総会役員は12:30に集合。

定款改訂が審議されるので、会員の3/4の出席・委任を確保すること。

2) 生涯教育講演会について協議

日時：5月26日(土)15:00～17:00

場所：草津市立まちづくりセンター

演題：「睡眠のちから」

～あなた ねむれますか?～

講師：駒田一朗先生

(社会保険滋賀病院 耳鼻咽喉科部長)

司会：大本理事・岡本理事

作成したポスターを事前に会場へ掲示していただく。

3) 結核感染予防研修会について協議

日時：平成19年6月9日(土)14:00～16:30

場所：ピアザ淡海

(滋賀県立県民交流センター) 大会議室

演題：「結核の現状と新しい感染診断法から結核感染予防対策を考えよう」

講師：原田登之先生

(財団法人結核予防会結核研究所
抗酸菌レファレンスセンター
免疫検査科 科長)

司 会：立脇憲一

(滋賀医科大学附属病院 検査部)

4) 平成19年度理事 担当部署について協議
小川理事は長期休みになるので、担当部署を他理事が補完する。

5) 「地域医療を守る滋賀県民集会」について協議

日 時：平成19年5月28日(月)15:00～16:30

場 所：大津プリンスホテル

コンベンションホール淡海

主 催：地域医療推進協議会

(当会も構成団体である)

当会の担当区分は閉会の挨拶。

当会会員の動員人数約10名確保する。

6) 厚生部「春のハイキング」計画について

日 時：5月19日(土)9:00～15:30

方 面：坂本～八瀬～高台寺

参 加：10名の申し込みがある。

7) 日臨技平成19年度第1回総会の出席者について協議

今村真治会員(大津赤十字病院)に依頼する。

4. 各部の連絡

事業部：

①平成18年度の報告書に評価を付けて配布済み

②平成19年度の参加調査を実施中

生涯部：公開講座の手順書を作成予定

渉外部：平成19年度の賛助会員の賛助案内を郵送済み

広報部：広報用のデジタルカメラを購入予定

組織部：会員名簿の作成に付き、Eメール掲載
諾否の問い合わせ

総務部：10月24日～26日

第66回日本公衆衛生学会が松山市開催されます。

5. その他

滋臨技会議室の資料整理にパソコンを導入し媒体で保存の予定。

次回理事会予定：

日 時：6月6日(水)17:00～19:00、

会 場：(社)滋臨技 会議室

司 会：岸本副会長



平成19年6月定例理事会議事録

日 時：平成19年6月6日(水)17:00～19:00

場 所：滋臨技 会議室

出席者：瀬田、岸本、吉田孝、山本、吉田忠夫
藤田、横山、夏原、小梶、大本、内木
橋本

司 会：岸本

1. 会長挨拶と報告

5月28日、地域医療を守る県民集会に参加

5月28日、近畿医学検査学会

合同プログラム委員会に出席

2. 報告事項

1) 滋臨技 5月定例理事会開催

日 時：平成19年5月9日(水)17:00～18:30

場 所：滋臨技 会議室

2) 滋臨技 地区委員会議開催

日 時：平成19年5月9日(水)18:30～20:00

場 所：滋臨技 会議室

議 題：今後の活動のついて

3) 滋臨技、平成19年度第1回定期総会開催

日 時：平成19年5月26日(土)13:30～14:30

場 所：草津市立まちづくりセンター

議 題：

①平成18年度事業報告

②平成18年度決算報告

③監査報告

④定款改訂

⑤監事承認

4) 公開講演会(生涯教育研修)開催

日 時：平成19年5月26日(土)15:00～17:00
 場 所：草津市立まちづくりセンター
 演 題：『睡眠のちから』
 講 師：駒田一朗先生
 (社保滋賀病院 耳鼻科部長)

参加43名

5) 「地域医療を守る滋賀県民集会」

日 時：5月28日(月)15:00～16:30
 場 所：大津プリンスホテル
 参 加：252名

3. 協議事項

1) 結核感染予防研修会について

日 時：平成19年6月9日(土)14:00～16:30
 場 所：ピアザ淡海(滋賀県立県民交流センター) 大会議室
 演 題：「結核の現状と新しい感染診断法から結核感染予防対策を考えよう」
 講 師：原田登之先生(財団法人結核予防会結核研究所抗酸菌レファレンスセンター免疫検査科 科長)

※研修会には、多くの方の参加を呼び掛ける。

2) 日臨技の「全国学会担当の打診」について協議

常務理事会、理事会等で今後十分な検討をする。

3) 地区委員会のあり方について協議

- ①災害等の連絡網を整備する。
- ②地区懇談会のあり方を再検討する
- ③各自治体の健康フェスティバルへの参加を目指す。

4) 公益法人について協議

今後、公益法人の申請に向け活動をする。

5) 日臨技の臨床検査データ共有化事業について

今年度は、基幹施設で実施予定であり、8月に試料が配布される。

滋賀県の基幹病院は滋賀医大病院検査部。

6) 滋臨技の会議室の整備について協議

パソコンを購入して、電子媒体によるデータ保存を目指す。

資料の収集に努力する。

7) 会員名簿の作成について協議

- ①連絡を迅速にするため、Eメールのアンケートを採った。
- ②26の施設と個人からEメールアドレスの掲載許可を得た。
- ③今年度は、定款を同時に掲載する。

4. 各部の連絡

生涯部

- ①生涯研修履修証書を配布した
- ②生涯教育制度ガイドライン暫定版が発行された。

概 要：履修期間は5年を1区分。基礎教科と専門教科の2教科。

会場研修と自宅研修とする。履修点数は、基礎教科60点以上専門教科140点以上で合計200点以上とする。

厚生部 5月19日ハイキングを実施。12名の参加。

広報部 「滋臨技だより」227号を7月初旬発予定。原稿は6月15日まで受付ける。

組織部 新入会者研修会を開催予定。

日 時：8月4日(土)15:30～16:30

場 所：未定

次回理事会予定：

日 時：7月4日(水)17:00～19:00、

会 場：(社)滋臨技 会議室

司 会：吉田 孝 副会長



会 員 動 向

1. 会員の動向 (平成19年5月1日現在)

総会員数 493名 (日臨技名、県内のみ名)

新再入会員 24名

2. 新入会員

会員番号	氏 名	所 属
254546	今井 友香	東近江市立能登川病院
254547	横山 愛	恩賜財団済生会滋賀県病院
254548	吉川 泰代	財団法人 滋賀保健研究センター
254549	樋口 由希菜	財団法人 滋賀保健研究センター
254550	布施 恵利香	財団法人 滋賀保健研究センター
254551	上田 茜	財団法人 滋賀保健研究センター
254552	西村 由里子	彦根市立病院
254553	新井 未来	恩賜財団済生会滋賀県病院
254554	森野 奈央	財団法人 近畿健康管理センター
254555	上坂 光正	株式会社 近畿予防医学研究所
254556	小嶋 理恵	株式会社 近畿予防医学研究所
254557	岡野 めぐみ	株式会社 近畿予防医学研究所
254558	坂本 典子	株式会社 近畿予防医学研究所
254559	中原 充裕	株式会社 近畿予防医学研究所
254560	松山 摩美	株式会社 近畿予防医学研究所
254561	山中 厚子	株式会社 メディック
254562	北川 恵理	株式会社 メディック
254563	長谷川 大祐	株式会社 メディック
254564	関 美代子	滋賀県立成人病センター
254565	稲垣 亜矢子	財団法人 近畿健康管理センター

3. 再入会員

会員番号	氏 名	所 属
235691	中村 文	医療法人仁生会 甲南病院
244500	丹羽 実都人	株式会社 近畿予防医学研究所
254238	森野 薫	財団法人 近畿健康管理センター
275096	塚本 忠彦	株式会社 近畿予防医学研究所

4. 施設名称の変更

施設番号	新 施 設 名 称	旧 施 設 名 称
9250086	びわこ学園医療福祉センター	第一びわこ学園

5. 勤務先の変更

会員番号	氏 名	所 属	旧 所 属
254055	岩崎 由紀	県立小児保健医療センター	滋賀県立衛生科学センター
250056	中村 由紀子	県立成人病センター	県立小児保健医療センター
250062	橋本 道夫	県立成人病センター	県立小児保健医療センター
250086	入野 保	県立小児保健医療センター	県立成人病センター
254045	三田村 徳子	滋賀県琵琶湖環境科学研究センター	県立成人病センター
254131	田中 實	滋賀県立精神医療センター	県立成人病センター
275646	土肥 誠	県立成人病センター	滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
345080	岩崎 悦子	済生会滋賀県病院	自宅会員

6. 転出

会員番号	氏 名	所 属	旧 所 属
------	-----	-----	-------

254504 嶋 千寿子 聖隷 浜松病院

7. 氏名変更

会員番号	変 更 後	変 更 前
254384	清水 陽子	蒲生 陽子
174456	岩崎 香織	豊島 香織

8. 施設代表者の変更

施設番号	施 設 名	連絡責任者
9250004	大津市民病院	鉤 順子
9250036	市立長浜病院	清水 定兵衛
9250039	湖北総合病院	橋本 俊彦
9250074	滋賀県立小児保健医療センター	入野 保

9. 自宅会員

会員番号	氏 名
250051	多林 久治

10. 退会

会員番号	氏 名
250166	中島 佳和
250209	辻井 知男
254511	岡留 沙矢佳

1. 会員の動向 (平成19年6月6日現在)

総会員数 名 (日臨技名501、県内のみ名)

2. 新入会員

会員番号	氏 名	所 属
254566	八木 美苑	大津赤十字志賀病院
254567	大原 麻美	甲南病院

3. 再入会員

会員番号	氏 名	所 属
276654	駒井 和	済生会滋賀県病院
264349	桑原 正明	草津総合病院

4. 勤務先の変更

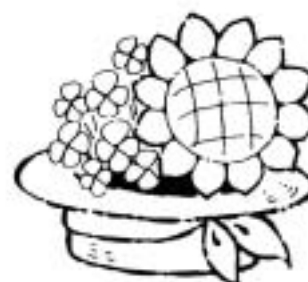
会員番号	氏 名	所 属	旧 所 属
250302	河原 晶	滋賀県衛生科学センター	衛生科学センター草津分室

5. 施設代表者の変更

施設番号	施 設 名	連絡責任者
9250031	国立病院機構滋賀病院	渡久地 政茂
9250054	水口病院	杉田 愛美
9250083	草津総合病院	村島 智

6. 自宅会員

会員番号	氏 名
250111	富田 和彦



お知らせ

第12回 近畿輸血検査研修会のご案内

- 【テーマ】** 輸血の安全を考える
- 【会期】** 平成19年9月8日(土)～9日(日)
- 【会場】** 中級実技講習会 滋賀医科大学 看護学科 生体機能実習室
〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町
- 講演会 コラボしが21 3階 大会議室
〒520-0806 滋賀県大津市打出浜2番1号 TEL 077-511-1400
- 懇親会・宿泊 ホテルピアザびわ湖
〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1丁目1番20号 TEL 077-527-6333
- 【内容】** 9月8日 中級輸血検査実技講習会
1. 不規則抗体同定
2. 直接抗グロブリン試験陽性検体の精査
懇親会
ナイトセミナー(自由参加)
- 9月9日 講演会
1. 『近畿地区におけるコンピュータクロスマッチの現状—アンケート結果より—』
滋賀医科大学医学部附属病院 検査部 茂籠 弘子 技師
2. 『輸血検査結果報告のあり方を考える』
愛知医科大学病院 輸血部 安藤 高宣 技師
3. 『救命救急センターにおける緊急輸血の実際と輸血製剤使用量削減の戦略』
川口市立医療センター 副院長 兼 救命救急センター長 小関 一英 先生
- 【募集人員】** 中級実技講習会 50名 講演会 100名
- 【受講料】** 2日間参加 24,000円(実習費、8日昼食代、宿泊費、懇親会費含む)
2日間参加 13,000円(実習費、8日昼食代含む)
1日目中級実技講習会のみ参加 9,000円(実習費、8日昼食代含む)
2日目講演会のみ参加 4,000円
※懇親会参加費 5,000円 ※宿泊費(朝食付き) 9,000円
- 【申込締切】** 平成19年7月31日(火) 但し、定員になり次第募集を締め切らせて頂きます。
- 【申込方法】** ①ホームページからのお申し込み方法
下記URLからお申し込み下さい。
第12回近畿輸血検査研修会ホームページ：<http://www.samt.jp/kinkyuketsu/>
②FAXでのお申し込み方法
申込書に必要事項を記入してFAXで下記までお申し込み下さい。
- ※申し込みを受け付けた方には、後日、受講料振込先と研修会案内をメールまたはFAXにてお送り致します。
- 【申込先】** 〒522-8539 滋賀県彦根市八坂町1882 彦根市立病院 臨床検査科 中村 勇治
TEL 0749-22-6050 FAX 0749-22-6202
- 【問合せ先】** 〒520-0804 滋賀県大津市本宮2-9-9 大津市民病院 臨床検査部 松井 まり子
TEL 077-522-4607
- 【生涯教育点数】** 臨床専門 2日間参加30点 1日参加20点 会員証を忘れずに持参してください。
- 【主催】** 近畿臨床検査技師会
- 【担当】** (社) 滋賀県臨床衛生検査技師会 輸血・移植検査部門

今後の事業予定

新入会員研修会

日 時：平成19年8月4日（土）15：30～17：00

場 所：草津市立まちづくりセンター

学術部（輸血部門）公開講座

日 時：平成19年9月29日（土）

場 所：草津総合病院 あおばなホール

演 題：（仮）血液型と輸血療法



求人求職情報

彦根市立病院 臨床検査技師募集

募 集：臨床検査技師1名（正職員増員）

受 験 資 格：昭和48年4月2日以降に生まれた者で

臨床検査技師免許を有する人（見込み者可）

受 付 期 間：平成19年8月6日（月）～8月24日（金）

第 一 次 試 験：平成19年9月2日（日）

第 二 次 試 験：平成19年10月14日（日）

採 用：平成20年4月1日予定

問 い 合 わ せ：〒522-8539 彦根市八坂町1882

彦根市立病院 総務課内

TEL：0749(22)6050（内3516, 3517）





健康が何よりも大切と考えています。
そのために、少しでもお役に立ちたいと
日々考えております。

株式会社 アテスト

本 社 611-0041 京都府宇治市横島町落合121-2
TEL 0774-21-2170 FAX 0774-21-5023

滋賀営業所 525-0027 滋賀県草津市野村2-12-24
TEL 077-563-0725 FAX 077-569-6645

福知山連絡所 620-0044 京都福知山市宇裏ノ南栄町41
TEL 0773-25-3423 FAX 0773-25-3423

体外診断用医薬品
 認証番号 218AAM000187000

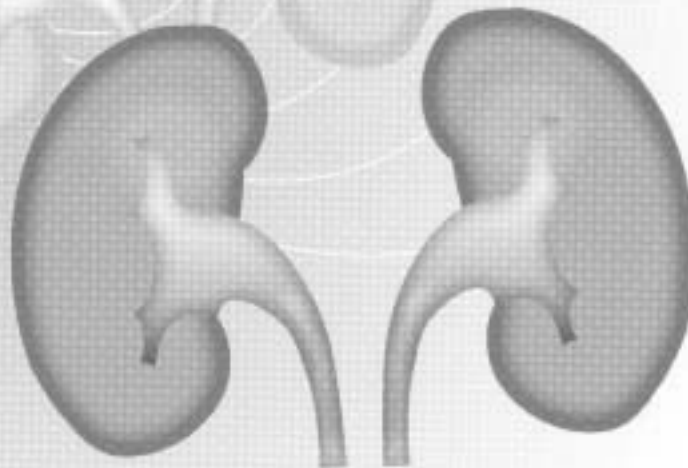


シスタチンCキット

LZテスト‘栄研’シスタチンC

特徴

- ・本法はラテックス凝集免疫比濁法です。
- ・各種自動分析装置への適用が可能です。
- ・試薬安定性が良好で、精度良い測定が可能です。
- ・高感度で測定レンジも広く、日常検査に適した試薬です。
- ・精度管理用コントロール血清を用意しています。



製品名	包装単位	製品コード	貯蔵方法	有効期間	適応機種例
LZテスト 栄研 シスタチンC	20mL×2	G-I230	2～10℃	1年間	H717D BM2250
	20mL×2	G-I231			H707D TBA200FR

本品は、試薬-1(20mL×2)と試薬-2(20mL×2)の2つの包装です。
 キャリブレーターは、別売の標準をご利用ください。
 コントロール血清は、イムノビアリ1および2が使用できます。

(別売 標準)

製品名	包装単位	製品コード	貯蔵方法	有効期間
LZ-Cys-C標準 栄研	1mL×6 (4℃冷蔵管理)	G-I234	2～8℃	1年間

(別売 コントロール血清)

製品名	包装単位	製品コード	貯蔵方法	有効期間
イムノビアリ1	3mL×2	G-XC51	2～8℃	1年間
イムノビアリ2	3mL×2	G-XC52		



栄研化学株式会社
 〒113-8408 東京都文京区本郷1丁目33番8号
<http://www.eiken.co.jp>

営業所 札幌 011-281-5401 仙台 022-712-2882
 東京第一 03-3913-8497 東京第二 03-3913-8588
 東京第三 045-664-4891 名古屋 052-951-3022
 京都 075-212-7277 大阪 06-6264-5312
 広島 082-247-4506 高松 087-837-7787
 福岡 092-751-2227

[お問い合わせ・資料請求は、栄研化学営業所へ]



編 集 雑 感

今年も、いよいよ梅雨に入りむし暑い毎日が続いてお
りますが、会員の皆様お元気ですか？

まさか、「もう夏バテ～や」ではないでしょうね！しっ
かり食べて、しっかり睡眠を取り、これからの夏本番を
乗り切りましょう～！！

技師会では、今後各分野の研修会及び8月には新人研
修会を予定しておりますので、多数のご参加をお願いします。

藤田 記



会誌・会報恵送御礼

愛知県、富山県、三重県、栃木県、奈良県
大阪府、神奈川県、群馬県、東京都、北海道
和歌山県、千葉県、新潟県、京都府、長野県
滋賀県理学療法士会、滋賀県放射線技師会

第227号滋臨衛技だより

2007年 7月15日

発行所 滋賀県臨床衛生検査技師会

編集者 藤田 忠夫

桐畑 邦広

印刷所 合同印刷株式会社